民報さざ

2018年２月　No.2

発行　日本共産党佐々支部　☎0956－37－8837

日本共産党佐々町議会議員

永田かつみの議会報告

介護保険料４月から引き下げへ

12月議会　永田議員の質問に町長が答弁

平成30年度から３年間

「高すぎる保険料を引き下げてほしい」という、要望の強かった介護保険料が引き下げられる見通しとなりました。これは、昨年12月の町議会で永田議員の質問に対して、古庄町長が答弁したもの。町長は、「平成30年度からの第7次計画では、基金の取り崩しも勘案し、現在の保険料から低く設定できるものと考えている。」と答弁、今年４月からの３年間の介護保険料が引き下げられることになりました。

佐々町は、介護予防の取り組みなどで厚労省のモデル自治体とも言われるように、社協をはじめとしたボランティアの方々の努力も反映した積極的な取り組みが進められてきました。その結果、介護保険の「認定率」や「給付額」が減少・横ばいなどの「成果」を上げてきました。近年は毎年「大幅黒字」という状況が続いています。一方で、保険料は県内平均を大きく上回ってきました。

永田議員は、９月議会以降、「介護保険の基金（積立金）が１億円を超えている『大幅黒字』の分は町民に還元すべきだ」とくり返し質問してきました。

12月議会での討論では、他の議員からも「過去にも基金を取り崩したことがあり、町民に還元すべきだ」という意見が述べられました。町民が声を上げてきた結果が町政に反映される結果となりました。

12月議会で永田議員は、「４月以降、安倍政権が進める介護保険制度改悪の結果、介護サービスが後退する恐れはないのか」と、質しました。答弁した担当課長は「介護サービスが低下する事はない」と答弁しました。

しかし、現役並みの所得のある世帯では利用料が３割に引き上がるのを始め、軽度と見なされた利用者が、ディ・サービスの利用を制限されるなどが心配されます。引き続きよりよい介護保険制度への改善をはかる事が求められます。

県知事選挙・原口敏彦さん

23％の得票率で善戦

４日投票が行われた県知事選挙では、投票率が大幅に低下し現職は県下すべての市町で得票も得票率も減らしました。しかし原口敏彦さんは得票を２つの市でわずかに減らしたものの得票率はすべての市町で増やし、はじめて２割を超え過去最高となりました。

なかでも「むだづかい公共事業」である石木ダム建設の地元、川棚町では３割を超える得票となり県下トップ、強引なダム建設への批判が示された結果となりました。

佐々町でも得票率が過去最高の23％となり、得票も前回から15％伸ばすことができました。ご支援いただいた町民のみなさんに心から感謝いたします。

これからも、「１兆円も使う『フル規格』新幹線」「県民対立あおる諫干」「ムダづかいの石木ダム」など、大型事業優先で県民の声を聞かない県政の転換を求めて頑張ります。

佐々駅前のバス停が明るくなりました

地域のみなさんから要望が出されていたMR佐々駅前のバス待合所に、このほど照明がつきました。

よりよいまちづくりに向けて、みなさまのご意見、ご要望などをお寄せください。